

寒川町 平成 26 年度 川の生き物調査隊 実施報告

戻る

報告) さむかわエコネット 中門 吉松

1. 日時 平成 26 年 7 月 26 日 (土) 9:00~12:00 (座学、生き物採取、調査)
2. 場所 (座学) 寒川広域リサイクルセンター 2 階研修室
(野外調査) 目久尻川親水護岸 (リサイクルセンター西側)
3. 参加者 一般参加者 27 名 (子供 18 名、大人 9 名)、エコネット 15 名
県水産課 (勝呂氏) 神奈川ウォーターネットワーク (諏訪部氏、安斎氏)
Dream eggs ゆめたま (相川氏) 馬入水辺の楽校 (岸本君)
寒川町環境課 5 名
4. 内容

- 1) リサイクルセンター内で川の生き物についての学習 (9:00~10:00)

講師: 神奈川県水産課 勝呂 尚之氏



- ・相模川の上流域、中流域、下流域に生息する魚たちについての紹介
- ・相模川の代表的な魚・鮎の生態、絶滅が危惧されるうなぎの生態など詳しく説明
- ・山 (水源) がなかったら、川の水が減少して生き物が生息できなくなる
- ・川の本質を守るには源流・支流を大切にすることが重要
- ・魚などの生き物は川と海を行き来している
- ・日本の生き物は島国で生きてきたので特殊な生態で外来生物に対して弱い
- ・神奈川県では絶滅種が 2 種、絶滅危惧種が 14 種となっている。
- ・絶滅種のミヤコタナゴは特殊な生態をしている。
ドブガイなどの二枚貝に産卵するが、ドブガイはシマヨシノボリの鰭などに卵を産みつけ寄生して成長する。複雑な生態系のバランス保たれる環境が必要となる
- ・鶴見川や多摩川は下水処理が進み、川の再生がされてきた。
- ・目久尻川にどんな生き物がいるか、魚だけでなく、どんな生き物でも取れたら逃がさないで後で調査しましょう
- ・・・勝呂さんが説明している間も子供たちから色々な質問、勝呂さんから子供達への問いかけには子供たちの思い通りの答が返され、和やかな学習会となった。

- 2) 目久尻川に入って、川の生き物を採取する (10:15~11:15)





???何が取れたかな?



...最高のコンディションの中での
“川の生き物調査隊”でした。

3) 採取した川の生き物を調査 (11:15~12:00) 説明: 勝呂さん、相川さん



- ・子供の質問) ナマズとアメリカザリガニを一緒に飼ったらどちらが勝ちますか?
- ・勝呂さんの答) そうだな〜、大きさがちょっとでも違うと大きい方が勝つかな。

【採取した生きもの数と大きさ】 測定: 勝呂さん

	名前	採取数	体長 (mm)		備考
			大	小	
魚類	ウグイ	5	41.6	28.9	
	オイカワ	16	66.4	22.6	
	コイ	7	400	51.8	
	フナ属	74	45.1	20	フナ属 ギンブナ種
	アブラハヤ	5	17.3		測定は一匹のみ行った
	ミナミメダカ	13	20	13.4	
	ゴクラクハゼ	6	72	39.4	準絶滅危惧種、生息は貴重な川 『ゴクラクハゼの棲む町さむかわ』
	ナマズ	1	121		
	カマツカ	2	30.6	23.9	
	ドジョウ	5	74.4	37.4	
甲殻類	モツゴ	1	34.6		モツゴとムギツクのアイノコ?
	タモロコ	1	25.3		
	モクズガニ	16	33.7	14.2	
	ヒラテテナガエビ	1	28.8		
	ミナミテナガエビ	1	10.3		
	カワリヌマエビ属	29	7.7	33	
	アメリカザリガニ	6	29	13.8	
昆虫類	フロリダマミズヨコエビ	5	-	-	
	オナガサナエ (ヤゴ)	1	-	-	日本特産種のトンボ 水のきれいなところに生息
	コオニヤンマ (ヤゴ)	1	-	-	
	トビケラ科	2	-	-	
	ユスリカ科	3	-	-	
	シマトビケラ科	7	-	-	
	マダラカゲロウ科	1	-	-	
扁形動物	コカゲロウ属	4	-	-	
	アメリカツノウズムシ	9	-	-	
環形動物	イシビル	2	-	-	

以上